



PRINCESS CRUISES

<プレスリリース>

2014年1月24日

プリンセス・クルーズ、ジャン・スワーツが社長に就任

世界的なクルーズ会社であるプリンセス・クルーズは、ジャン・スワーツがプリンセス・クルーズの社長に就任したことを発表した。前プリンセス・クルーズ社長&CEO、アラン B. バクルーは、新たに設立された役職であるカーニバル・コーポレーション& plc の最高執行責任者に就任した。

スワーツはプリンセス・クルーズの新社長として、世界中でクルーズとツアーを提供する会社を統括する。プリンセス・クルーズは、17 隻の客船を運行し、年間 170 万人のお客様を世界中の目的地に向けてお連れしている。プリンセス・クルーズは、25,000 人の従業員を抱え、60 か国以上でセールス、マーケティング、オペレーションを行っている。

カーニバル・コーポレーション& plc の CEO アーノルド・ドナルドは、次のように話している。「何年も前にスワーツに初めて会った時、彼女はプリンセス・クルーズで素晴らしい活躍をしてくれるに違いないと確信しました。私は彼女の社長就任を全面的に支持します。」

スワーツは、プリンセス・クルーズのセールス、マーケティング、顧客サービス部門を統括するエグゼクティブ・ヴァイス・プレジデントを、2009 年より務めていた。それ以前は 2004 年から、プリンセス・クルーズとキュナード・ラインの両ブランドの顧客サービス及び販売部のシニア・ヴァイス・プレジデントを務めていた。

2001 年、スワーツはクルーズの販売戦略と業務拡張の為にプリンセス・クルーズのヴァイス・プレジデントに起用され、P&O プリンセス/カーニバルの吸収合併に力を尽くした。プリンセス・クルーズに入社する前は、ベイン・アンド・カンパニーでマネージメント・コンサルタントとして 5 年間従事し、消費サービス企業の成長戦略に携わった。さらにベインでは、プリンセス・クルーズの目覚ましい事業拡大に先立って、プリンセス・クルーズのコールセンター・プログラムや販売戦略の見直し、強化においてチームをリードした。

プリンセス・クルーズに入社する直前には、インタラクティブ・エンターテインメント業界の大手 MXG メディアの CEO として、オンライン・サービス、カタログ、雑誌、TV 関係の業務に従事してきた。

スワーツはハーバード・ビジネス・スクールで MBA を取得し、ヴァージニア大学で経済と英語学で修士号を取得している。夫と二人の子供とともにロサンゼルス在住。

プリンセス・クルーズは 6 大陸、300 か所以上の目的地に向けて、4 泊から 111 泊のクルーズを運航している。約 150 の旅程では、アフリカ、アラスカ、アジア、オーストラリア/ニュージーランド、カナダ/ニューイングランド、カリビアン、ヨーロッパ、ハワイ、インド、日本、メキシコ、パナマ運河、南アメリカ、南太平洋、タヒチ/フランス領ポリネシアなどを楽しめる。全ての旅程は、プリンセス・クルーズのホームページ(www.princess.com/find/search)で検索可能。日本発着クルーズや、海外クルーズで日本人に人気のコースは <http://www.princesscruises.jp/> で検索できる。

以上

お問い合わせは 株式会社カーニバル・ジャパンまで TEL:03-3573-3610 <http://www.princesscruises.jp>